

事務所経営について

コロナ禍を経て新しくなった働き方において、所内のコミュニケーションを活性化するために、太陽国際特許事務所で取り組んでいることをご紹介します

弁理士法人太陽国際特許事務所
所長 中島崇晴

コロナ禍を経て、特許事務所における勤務スタイルも大きく変化し、新しい働き方が浸透してきました。多くの事務所で、リモート勤務が導入され、自宅やオフィス外からの勤務が当たり前となったと耳にします。

弊所も例外ではなく、現在は事務担当者も含め所員全員が基本的に自由に在宅／出勤を選択することができるようになってきました。こういった環境変化は、事務所勤務の弁理士・所員には非常に歓迎されており、みなさんそれぞれの理想の勤務スタイルで様々な場所で勤務を行っているようです。

一方で、リモート勤務の充実化は、少なからず一定の弊害ももたらしているように思います。その中の一つが、「コミュニケーションの不足」です。全員がオフィス勤務をしていた状況と比較すると、ちょっとした雑談の場が失われ、所員同士がお互いの顔を合わせる機会も少なくなっています。こういった状況は、特に新入所員などで、まだ所内に顔見知りが少ない人にとっては、意外にストレスであったりします。

良い仕事をするためには、「コミュニケーション」が重要、と思います。お客様とのコミュニケーション、所員同士のコミュニケーション、いずれも欠かせません。最近では、従来からあるメールや電話の他に、Web ミーティングや、チャットツールなど、様々なコミュニケーションツールが登場し、対面以外のコミュニケーション方法も色々と増えてきました。これらを使った通知や連絡も、間違いなくコミュニケーションではあり、優れた面もあるのですが、対面でのコミュニケーションと比較すると劣る点もあります。例えば、会ったことの無い方との間でこういったツールを使うと、必要事項の伝達のみで終始してしまう傾向があります。

こういった、状況を打破すべく、弊所でたどり着いた解決手段が、「所内イベントを頻繁に（少なくとも月1回）実施」です。例えば、所員の皆さんに「この日は必ず出勤してください！」とお願いすると、様々な理由でストレスを感じる方が出てきてしまいます。一方で、「この日に出勤すれば、ケーキを配りますよ！」と告知すると、「じゃあこの日に合わせてオフィスに出勤しようかな・・・」と、前向きにとらえて出勤する方が増えてくれるのです。

弊所では、基本的にイベントは自由参加ですが、こうしたイベントを実際に開催する日は本当に皆さんの出勤率が高く、オフィスのあちこちでイベントに関する雑談が聞こえてきます。毎回イベントの準備をしてくれる総務部の皆さんは大忙しで申し訳ないのですが、おかげで新入所員の皆さんも、色々な人と交流することができ、助かっているそうです。

ちなみに私ですが、イベントでの所員の皆さんとのコミュニケーションを、所内で一番楽しんでいるかもしれません(笑)

◇以下が弊所の 2024 年度のイベントカレンダー（仮、一部抜粋）です。

- 1月 太陽酒の陣（日本酒をたしなむイベント）
 - 2月 バレンタインデー（チョコレートプレゼント）
 - 3月 ひな祭り（ケーキプレゼント）
 - 4月 お花見（新宿御苑でお花見）
 - 5月 牛乳でスマイルプロジェクト（コーヒー/カフェラテ&お菓子配布）
 - 6月 クリアソン新宿サッカー観戦@国立競技場
 - 7月 都市対抗野球観戦@東京ドーム/パブリックビューイング@オフィス
 - 7月 七夕祭り（短冊コンテスト&お菓子プレゼント）
 - 8月 日本酒で作るサングリア試飲会
 - 9月 中秋の名月（ケーキ/おだんごプレゼント）
 - 10月 オクトーバーフェスト（日本各地の地ビールをたしなむイベント）
 - 11月 ヴォジョレー・ヌーボー試飲会
 - 12月 クリスマス会（ケーキ/スイーツプレゼント）
- 不定期開催：健康企画（万歩計競争・歩数で抽選プレゼントなど）

